

「自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて書こう」

自分の考えに合った図表やグラフを見付けて、文章を書くことができる

文章と図とを関係付けて読み、自分の考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、この課題を解決するために、図表やグラフなどを読み、効果的に用いて自分の考えを文章に書くことについての指導事例を紹介します。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

B 2 目的に応じ、文章と図とを関係付けて読む
〈だれが選ぶ どれを選ぶ〉

B 2 三 正答率 41.8% 楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C ウ
〔第5学年及び第6学年〕 B エ

授業アイデア例

学習過程

学習課題 解説文を書くことに向けて、自分の伝えたいことに合った図表やグラフなどの資料を見付けよう

学習活動 1 何を伝えたいのか確認し、必要な情報を探す

- 自分の伝えたいことを明確にし、書名、目次、索引、見出し、手掛かりとなる言葉などに気を付けて、資料などを速く大まかに読む。



伝えたいことに合う情報とは、伝えたいことの根拠となるものや伝えたいことをより詳しく説明するものです。



一人一人がごみを減らしたり、ごみをきちんと分別したりすることが大事だということ伝えて、もっと協力してもらいたい。そのために、「ごみの分別の仕方」や「ごみの処理の仕方」に気を付けて読んでみよう。

学習活動 2 必要な情報がどこにどのように書かれているか見付けながら読む

- 「図表やグラフの読み取りポイント」に基づき、各自で、図表やグラフから読み取ったことをまとめる。



図表やグラフを読む際のポイントには主に次の四つがあります。

- ①何を表す図表やグラフなのか
- ②図表やグラフの中にあるそれぞれの情報は何を表しているのか
- ③どの言葉や数字に注目するのがよいのか
- ④注目する言葉や数字は何を意味するのか



ごみの始末には大変な努力、費用、時間がかかることが伝われば「なるほど」、「確かに」、「ごみの分別に協力しよう」と思ってくれるだろうな。

学習活動 3 見付けた情報によって自分の伝えたいことが伝わるか考えながら読む

- 「自分の伝えたいこと」と「図表やグラフから読み取ったこと」との照応について、説得力を高めているか確かめる。



図表やグラフなどを用いると自分の考えをより分かりやすく伝えることができます。何のために資料を用いるのか考えましょう。

- ①数を表したい→表やグラフ
- ②図解したい→図
- ③実際の様子を説明したい→絵や写真

など



ごみの減量や分別の必要性について、説得力をもつて伝えるためには、この図表やグラフ、絵、写真で合っているかな。

学習活動 4 選んだ図表やグラフ、絵、写真などの資料を用いて、文章を書く

- 自分が選んだ図表やグラフ、絵、写真などは、伝えたいことに合っているかを考え、選んだ資料を用いて伝えたいことを書く。
- 何という資料から引用したのかを表やグラフの近くを書く。また、文章の最後に、参考にした資料名などを明記する。



自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて、文章を書く

本授業アイデア例

活用のポイント!

- 「自分の思いを伝えるにはこの情報が必要だ」、「この写真があればごみの分別の必要性が伝わる」など、常に自分の伝えたいことに立ち返らせることで、目的意識をもち続けることができるようにすることが大切です。
- 児童に「自分の伝えたいことと合う図表やグラフなどを活用することで、説得力が生まれること」を自覚させるように指導することが必要です。